

## カトリック山手教会月報

## やまて



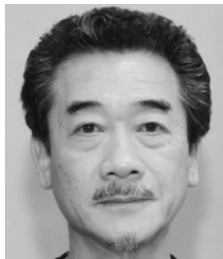
編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地  
☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>

第603号 2020年1月19日

## 「新年のご挨拶」

主任司祭 ミカエル鈴木 真

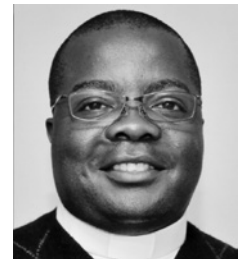
新年あけましておめでとうございます。昨年も多くの皆様に支えていただきました。新たな年も、皆様と共に歩んでまいりたいと思います。どうぞ、宜しくお願い致します。昨年は、3月に聖堂の天井が経年劣化により崩落し、調査の結果、大規模修繕が必要であることが判明し、現在は言わば応急措置の工事を行っています。また横浜市での資金援助を申請する関係上、本格的な工事は2年後となる予定です。普段当たり前に使っていた場所が使えないというのは、これほど不便なことかと実感しています。また同時に、わたしたちにとって聖堂という場所がいかに大切か、また山手の聖堂がどれほど沢山の皆様に愛されているかに今更のように気付かされました。聖堂が完全に修復されるまでには、まだまだ先が長いですが、山手教会が長い歴史の中で多くの皆様に支えられてきたことを、現在のわたしたちも重く受け止め、次の世代の皆様にさらに渡してゆけますよう、多くの皆様のご理解とご協力を賜りたいと思います。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。



助任司祭 キジト・マワイラ

信徒の皆さん、新しい年、2020年おめでとうございます。新しい年が皆さんにとって恵み多い年とな

りますように。また、私たちが神の光の中を歩いて行くことができますように。神様はすべてにおいて私たちのすべてです。ですから、この新たな年に私たち信徒一人ひとりに、また山手教会共同体全体に対し、新たな賜物を与えてくださるはずです。私たちは神様の贈り物が何なのかをきちんと見定め、自分なりに特定しなければなりません。



神様が私たちの願いに報いてくださるかは、私たちが神様にいつも信頼を置き、私たちといつも一緒にいてくださることを確信しているかどうかによるのです。これがいわば信仰の恩恵であり、この信仰の度合いに応じて神様からの新年の贈り物も評価されることになるのです。ですから、皆さんは揺らぐことなく信仰に踏みとどまり、さらに深めていかなければなりません。

地上では年を経るにつれ、私たちは肉体的に衰えてゆきます。でも神様と隣人の愛の力で、私たちは精神的には若返っていけるのです。だから、私たちが感謝を込めて過去を振り返り、現在を神からのプレゼントとして受け止めれば、私たちの未来は希望と熱意に満ちたものとなるでしょう。

私たちが過ぎ去った年には失敗していたとしても、2020年には新たな発展ができるよう神様にお願いし、お恵みを乞いましょう。そうでなくとも、新年は皆さんにとって何も書かれていない白紙の本のような

もので、手元にはペンもあります。皆さんにとって、ご自身の美しい物語を思い思いに書き上げる良いチャンスなのです。

改めて新年のご挨拶を申し上げます。

※原稿の英文を信徒の中野博明氏のご指導のもと、編集部で和訳しました。

#### 協力司祭 ドミニコ李 浄雨

信者の皆様、新年あけましておめでとうございます。新たに生まれたイエス様の降誕の喜びも一緒にお伝えしたいと思います。皆様のおかげで無事新年を迎えることができました。本年もより一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。新しい年を迎え、更に主のみ旨を果たし主の跡に従っていくことができますよう心をこめて皆様のためにお祈りいたします。



今は一緒にいないけれど早く元気になって皆様と共に喜びを味わいたいです。体は遠い異国に在りますが気持ちの距離はないと思います。一日も早く皆様に会えるよう毎日リハビリに励み、いつも山手教会信者の皆さまを思い出してお祈りしています。

令和2年 元旦